

令和5年度「山口県産業戦略本部」第2回全体会合 意見交換における本部委員の主な意見

□ イノベーション戦略（第2次改定）素案に関する意見

〔全体に関する意見〕

- 本県の強みを活かす基本的な考えを維持しつつ、ビジネス環境の変化や国の動きにも対応した内容になっており改定の趣旨に合致している。（山口大学：上西委員）
- やまぐち未来維新プランの4つの視点等を踏まえて、わかりやすくまとめられている。（UBE：高瀬委員）

〔瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト〕

（港湾関連）

- 国際バルク戦略港湾としての徳山下松港国際物流ターミナル整備事業について、引き続き着実な整備・推進を改めて願います。（東ソー：吉水委員）
- カーボンニュートラルポートを起点とする脱炭素燃料、アンモニアやバイオマスについて、これらの輸送受け入れ収容に必要な各インフラの整備に対する、資金、税制、規制緩和等の支援を願います。（吉水委員）

（工業用水関連）

- 周南地域では、秋から冬にかけて、慢性的に渇水対策が必要な状況となっており、今年は特に厳しい状況。水系を超えた広域的な融通や制約の緩和など検討してもらいたい。（トクヤマ：奥野委員）
- 工業用水に関しては、企業の競争力に影響することもあるので、コストダウンなどについて企業と協力し検討してもらいたい。（高瀬委員）
- 近年の少雨傾向に加え、今年、秋の台風シーズンに降雨が少なかったため、ダムの渇水が極めて深刻な状況。県と協力し、用水確保を進めたい。（吉水委員）
- ダムの貯水率管理について、過去のデータ等の解析、AI等を利用するなど効率的な運用を願います。（吉水委員）

（コンビナート企業間の連携促進関連）

- 総務省によるガイドラインでは、周南市（全域）は、電波の到達距離が1kmのマクロセル局が設置できず、電波の到達距離が100mの小セル局しか設置できない。現在、この制限の区割りを市町村単位から1km²単位等に細分化するよう行政に働きかけているので、支援を願います。（吉水委員）

〔成長産業育成・集積プロジェクト〕

- 半導体関連産業等の成長においては人材の確保が不可欠。県内の優秀な学生の県内就職の促進や、県外から戻って来てもらうための取組を願います。（奥野委員）
- 医療、航空・宇宙、半導体・蓄電池の分野等々、開発部門、研究部門で協力していく。（高瀬委員）

〔地域産業DX加速化プロジェクト〕

- 中堅・中小企業はまだまだDXまで手が出せない。初期導入の部分で、人材のシェアや、相談窓口などでの支援をしてもらえるとDX推進の後押しになる。(大晃HD：木村委員)
- DX投資というのは投資とその効果の関連性がつけづらいという面がある。効果と投資がマッチし、DX投資が活性化するような支援をお願いします。(高瀬委員)
- 素案では、ものづくりメーカーが必要としている「半導体・蓄電池関連分野」や、物流の2024年問題に対応する「物流DX」の取組が追加されている。この2つは強力に進めて欲しい。(長府製作所：種田委員)

〔高度産業人材確保・育成（リスクリング）促進プロジェクト〕

- 外国人が、働きやすい・住みやすい町づくりをサポートしてもらえると企業として大変心強い。外国人、日本人問わず、働きやすい場所・地域を選んでいくと思うので、地域をあげて、外国人が働きやすい場所といったものを目指していければ良い。(木村委員)
- 若者の人材確保が難しくなっている。県内高校生、大学生等の定着に向けた支援をお願いします。(種田委員)

〔海外ビジネス加速化プロジェクト〕

- 取引先の海外展開や県産農林水産物等の輸出拡大に向け、大いに期待をしている。県と共同して、取引先の戦略的な海外展開をサポートしていきたい。(山口銀行：小野委員)
- 海外ビジネス加速化プロジェクトにも期待している。県内企業の海外展開への後押しや、インバウンド拡大に向けた取組で経済は活性化する。(種田委員)
- (水産インフラ輸出構想について、) サプライチェーン全体の輸出という中で、最上流の漁船の中での鮮度管理を今回のプロジェクトで行ったので、次のステップの加工、流通につながるよう県の協力をお願いします。(フジミツ：藤田委員)
- 輸出に関しては、地域ごとの規制や、さまざまなリスク等が多くある。売るだけではなく、輸出をするために何が必要か支援いただくような仕組みがあれば良い。(藤田委員)
- 福岡県は非常に大きなインバウンドの出入口の拠点となっている。福岡県との地域間連携による、山口県へのインバウンドの流入が一つ施策として考えられる。(藤田委員)
- 中小企業が海外展開を行うには、商慣習の違いやリスクへの対応など大きな不安がある。経験のある企業との情報共有や、成功事例の紹介などの支援があると中小企業の海外展開の加速につながる。(ひびき精機：松山委員)

〔地域中核企業創出・成長支援プロジェクト〕

- スタートアップ企業はなくてはならない存在になってきているが、我が国にはエン

ジェル投資家が少ないため、地域でのスタートアップ創出には県の役割が大きい。また、本戦略において、スタートアップに関する取組目標の設定が必要。（上西委員）

- スタートアップ企業について県内の企業と県外のスタートアップ企業がつながるような取組が重要。（木村委員）

□ 産業脱炭素化戦略進捗状況に関する意見

- 概ね順調に推移していることを評価する。（多数の委員）
- エネルギーのカーボンニュートラルの取組においては、各産業に求められる時期や環境をとらまえて、それに応じた形で脱炭素化を進めていくことが重要。（奥野委員）
- 地域一体となってカーボンニュートラルを実現するため、事業活動の脱炭素化に向けた具体的な施策導入について県からの支援をお願いする。（マツダ：末廣委員）
- GXに関する項目が今後出てきても良い。（種田委員）。
- 中小企業は何をすればカーボンニュートラルにつながるか分かっていない。専門家による支援や、業種別又は地域別の数値目標を作り、小さい単位でカーボンニュートラルに取り組んでいくことも必要。（藤田委員）
- 低炭素化に向けて、地域各社の連携可能な分野、方向性などについて共通項を見出し、次世代燃料への転換を進めたい。（帝人：松浦委員）

□ その他

- 海水遡上による塩害被害に関して、共同での回避策、対応策の構築について支援をお願いする。（松浦委員）